

馬場恒壽 （政治評論家） 政治評論家。明治八年七月十八日岡山縣生れ、昭和二十一年四月五日歿（八七五—一九五六）。號柿木莊主、榊風沐雨樓主人、墓莊主人。東京專門學校中退。シヤパン・タイム入社入社。明治四十二年アメリカに渡り、ロオリエンタル・レヂュー「編輯長。大正二年歸國後國民新聞社に轉じ、政治部長、編輯局長等歴任。十二年退社して政治運動に關する一方評論活動。昭和二十年貴族院議員、讀賣新聞社社長、二十四年日本新聞協會初代會長。

譯著書、タームガード、カール、グレンーヴス著「獨探日記」（譯、大正四年一月十五日民友社）、（英和對譯）キツプリングの短篇小説」（譯、大正五年二月十八日シヤパンタイムス學生號出版所）、

「議會制度改革論」（昭和二年十一月十日青雲閣書房「民衆政治講座」）、

「現代人物評論」（昭和五年九月二十五日中央公論社）、

「政界人物風景」（昭和六年六月一日中央公論社）、

「現代ジャーナリズムの理論と動向」（合著、昭和六年十一月二十五日内外社）、

「人限重信傳」（昭和七年一月八日改造社）、「偉人傳全集」（

「議會政治論」（昭和八年二月二日中央公論社）、

「政界人物評論」（昭和十年二月二日中央公論社）、

「政治家」（昭和十二年一月二十七日中央公論社）、

「民族外交の類」（合著・竹内夏積編、昭和十五年七月十五日同倉書房）、

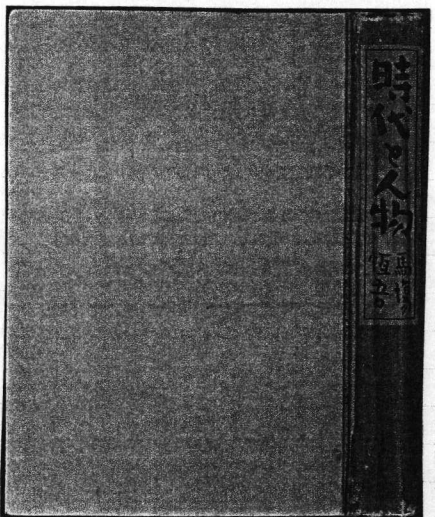
「時代と人物」（昭和十五年十一月二十日東洋經濟

新報社）、

「國と人物」（昭和十七年十一月二十日高



人物（昭和十七年十一月二十日高



山書院)、『伊藤博文』(昭和十七年十月)新潮文庫「新偉人傳全集」(一)、『近衛(閣)對中論一戰事開始の真相』(昭和二十一年一月)千  
五の高山書院)、『わが昔年の心』(合著・新居格編、昭和二十二年  
十月十五日現代社)、『近江點描』(昭和二十七年九月十日東亞文明  
社)等。